

<執筆者プロフィール>

高橋 功吉

(たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営
常務理事 グローバル事業担当

大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経 BP) 他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMC(国際公認経営コンサルティング協会) 認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

ご支援をさせていただいていると、その企業の経営者の方から、人事についてご相談を受けることがある。人事については、社内のメンバーには相談し難いということもあるし、また、外部から見た客観的なコメントが欲しいということもある。ご支援を通じて感じる組織面での課題や、人材の力をより引き出すという視点で、感じていることをお話しさせていただくのだが、今回は、ある経営者が組織と組織責任者を決める際に行われていたことを

ご紹介したい。一体感ある組織を作る
ご紹介したい。一体となった取り組みの難しさ

事業を進める上で大切なことは、ビジョンの実現に向けて、全社が一体となって取り組むことができる組織である。ところが、実際は、組織責任者を批判する声が聞かれることは多い。特に、経営企画や財務・経理、また、人事・総務といったスタッフ部門の責任者は、全社の経営推進の状況を管理するという立場から、ライン部門や事業部門の組織責任者を厳しく批判することがよくある。スタッフ部門は指摘をする人、ライン部門や事業部門は、いつも言われる人になっ

組織責任者を決める際に、必ず、スタッフ部門の部門長を集めて、事前に意見を聞くということをしてきた。このようにした場合もあれば、組織責任者は誰がよいと思うかと聞かれる場合もある。当然、経営者本人としては、結論は決められている場合が大半だが、形としては、色々と討議の上、スタッフ部門の責任者が決めたというように持つていかれる。すなわち、その狙いはライン部門や事業部門の責任者を決めたのは君達である以上、スタッフ部門の責任者はそれに責任を持つてくれということだ。こうなると、ライン部門や事業部門の責任者を批判することはできなくなる。自分が決めた人事である以上、少しでも、そのサポートをしようというスタンスにならざるを得ない。

スタッフ部門がこのようなスタンスになると、ライン部門や事業部門の責任者は、何かとスタッフ部門に相談に来るようになる。余分なことを言う批判や指摘をされることになり、黙っておこうという姿勢が大きくなり、事前にどうするのとよいかを相談するので、指摘や批判ではなく、解決のための検討を一緒にするということになり、皆の知恵が集まる事業運営ができることになる。

今回、なぜこのテーマを記載したかというのだが、スタッフ部門とライン部門との関係の良し悪しで事業推進において大きな差が出てくるのではないかと感じるからだ。キャッシュを生み出すのは、ライン部門や事業部門である。ライン部門や事業部門が前向きで積極的に取り組まれている企業は、自分達だけでは難しい問題があると、すぐにスタッフ部門に相談して力を借りようとする。ところが、スタッフ部門が経営トップの威を借りて厳しい指摘や指示ばかり出している企業は、ライン部門や事業部門はやらされる受け身の仕事ばかりに終始しており、スタッフ部門の協力を得ようというような動きは、ほとんど見られないからだ。

さて、皆さんの企業は、どちらのタイプだろうか。真にライン部門・事業部門を支えるスタッフ部門にしたいものだ。

判ではなく、解決のための検討を一緒にするということになり、皆の知恵が集まる事業運営ができることになる。

今回、なぜこのテーマを記載したかというのだが、スタッフ部門とライン部門との関係の良し悪しで事業推進において大きな差が出てくるのではないかと感じるからだ。キャッシュを生み出すのは、ライン部門や事業部門である。ライン部門や事業部門が前向きで積極的に取り組まれている企業は、自分達だけでは難しい問題があると、すぐにスタッフ部門に相談して力を借りようとする。ところが、スタッフ部門が経営トップの威を借りて厳しい指摘や指示ばかり出している企業は、ライン部門や事業部門はやらされる受け身の仕事ばかりに終始しており、スタッフ部門の協力を得ようというような動きは、ほとんど見られないからだ。

さて、皆さんの企業は、どちらのタイプだろうか。真にライン部門・事業部門を支えるスタッフ部門にしたいものだ。

コンサルタントの現場から

第72回

(株)ジェムコ日本経営 高橋 功吉

「コンサルタントの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で聞き取ったことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

組織責任者を決める際に、必ず、スタッフ部門の部門長を集めて、事前に意見を聞くということをしてきた。このようにした場合もあれば、組織責任者は誰がよいと思うかと聞かれる場合もある。当然、経営者本人としては、結論は決められている場合が大半だが、形としては、色々と討議の上、スタッフ部門の責任者が決めたというように持つていかれる。すなわち、その狙いはライン部門や事業部門の責任者を決めたのは君達である以上、スタッフ部門の責任者はそれに責任を持つてくれということだ。こうなると、ライン部門や事業部門の責任者を批判することはできなくなる。自分が決めた人事である以上、少しでも、そのサポートをしようというスタンスにならざるを得ない。

スタッフ部門がこのようなスタンスになると、ライン部門や事業部門の責任者は、何かとスタッフ部門に相談に来るようになる。余分なことを言う批判や指摘をされることになり、黙っておこうという姿勢が大きくなり、事前にどうするのとよいかを相談するので、指摘や批判ではなく、解決のための検討を一緒にするということになり、皆の知恵が集まる事業運営ができることになる。

今回、なぜこのテーマを記載したかというのだが、スタッフ部門とライン部門との関係の良し悪しで事業推進において大きな差が出てくるのではないかと感じるからだ。キャッシュを生み出すのは、ライン部門や事業部門である。ライン部門や事業部門が前向きで積極的に取り組まれている企業は、自分達だけでは難しい問題があると、すぐにスタッフ部門に相談して力を借りようとする。ところが、スタッフ部門が経営トップの威を借りて厳しい指摘や指示ばかり出している企業は、ライン部門や事業部門はやらされる受け身の仕事ばかりに終始しており、スタッフ部門の協力を得ようというような動きは、ほとんど見られないからだ。

さて、皆さんの企業は、どちらのタイプだろうか。真にライン部門・事業部門を支えるスタッフ部門にしたいものだ。

ゴルフ場プロモーション情報

カオキヨCC(10月31日まで)

平日(祝日を除く) 終日
カートパッケージ料金 1,500パーツ
土日祝日の割引: 12時以降
カートパッケージ料金 1,800パーツ

※各ゴルフ場共にパッケージはグリーンフィー、キャディ代、カート代が含まれます。パッケージ以外はキャディフィー 350 パーツ、カート代 600 パーツ(オプション)が別途必要となります。
※上記ラウンド無制限以外は全て 18 ホールの料金です。

各お問合せ先 (8時~17時まで)
カオキヨCC Tel: 081-862-2274

ダイナスティーゴルフ(12月31日まで)

クラブタイランド会員の方は
平日: 600パーツ
土日: 1100パーツ

各お問合せ先 (6時~17時まで)
ダイナスティーゴルフ Tel: 034 993 333-7

企業情報、掲載します

新製品・サービスなど

企業情報を掲載させていただきます。
掲載ご希望の企業の方は下記までご連絡ください

バンコク週報 info@bangkokshuho.com

J-worldTV

คอนโดニウム、ホテル、サービスアパートの共有Wi-Fiでも視聴可能!!

テレビ番組が **最安値!!**
しかも! 業界最長 過去30日分
の番組をご覧頂けるのです!

本体価格 4,000B + 半年間の視聴付 6,000B
初期費用 **10,000B**
更新・毎月 **1,000B**
買取ののにレンタルよりも安い!

POINT

- 1 テレビ番組 1 万本以上と番組録画が見放題! ライブ視聴と過去 30 日の録画機能でいつでも視聴できます
- 2 テレビの他に「70 万種類のアプリ」も使えます! アンドロイド OS の導入で、スカイプ・LINE・FB をご家庭で楽しめる夢の BOX です
- 3 旅行・出張など、世界中どこでも使えます! 手のひらサイズで持ち運び楽々! 接続も手間いらず、わずか 5 分で完了します
- 4 ご契約の更新料は「驚異の 6,000 パーツ / 半年」豊富な機能と番組録画も入って月々の使用料は、たったの 1,000 パーツ
- 5 バンコク近郊は機器取り付け費が無料です! 機器の設置からアフターフォローまで、すべて日本人が対応します

look-j.tv www.j-world.tv お申込み・お問い合わせはお気軽に!
日本人直通 **084-720-6302 / 090-270-0105**

品質・価格ともに業界 No.1

▼ウェブサイトはこちら▼

プレミアムトンロー

建築年数 2007年

トンローソイ 9 と 11 を繋ぐ通りに面した立地

日本村、Jアヴェニューにも近く生活に大変便利な立地となります。

日本語スタッフ常駐

スイミングプール有

506号室 (83㎡)
45,000B
(サービス抜き)

705号室 (70㎡)
40,000B
(サービス抜き)

お問合せはバンコク週報 平木まで **02-632-9179**